

第 1 回トンネル工学に関するシンポジウム開催について

土木学会では本年 2 月よりトンネル工学委員会（委員長 藤井松太郎氏，ほか委員 24 名）を設置し，トンネル工学に関しての問題点を研究して行くことになりました。

つきましては，この委員会設置第一の行事として，現在問題になっている事項につき，下記によりシンポジウムを開催いたしますのでふるってご参加下さるようご案内致します。なお，トンネル委員会ではこの種シンポジウムを毎年開催する予定です。

期 日：1962 年 6 月 21 日（木） 9.30～17.00

会 場：私学会館（千代田区九段 4 の 4）

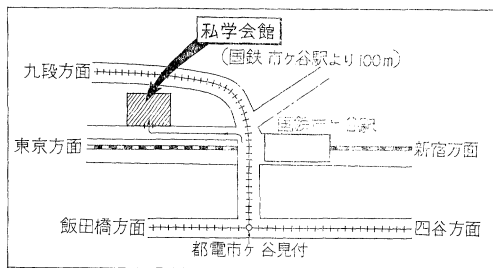
会 費：300 円（テキスト代実費）

定 員：250 名

申込期限：1962 年 5 月 31 日

申込方法：御申込みは各自，住所，氏名，勤務先を明記の上，会費をそえて申込期限内に学会に必着のようお申し込み下さい。（振替口座東京 16828 番）。満員の際は期間内でもお断りすることがございますので，あらかじめご了承下さい。

会 場 案 内 図



講演者および講演題目，講演時間

9.45～10.45 トンネル用鋼アーチ支保工について
 10.45～11.45 長大トンネルの地質について
 11.45～12.45 昼 食（休憩）
 12.45～13.45 トンネル工事における災害の実情について
 13.45～14.45 高熱トンネルの施工について
 14.45～15.00 休 憩
 15.00～16.00 名古屋市高速鉄道のシールド工法について
 16.00～17.00 最近のトンネルの施工について

国鉄静岡幹線工務局長	工 博	坂 本	貞 雄
電源開発 K K 調査役		広 田	孝 一
労働省産業安全研究所土木課長		森	宣 制
関西電力 K K 建設部次長		丸 山	二 郎
名古屋市交通局高速鉄道建設部工事事務所長		高 見	敬 一
K K 熊谷組 常務取締役		加 納	俊 二

◎各講演終了後約 15 分間程度討論を行なう予定です。

見 学 会

上記シンポジウムについて下記により見学会を開催いたします。なお，見学の後懇親会を兼ねて討論会を開催する予定です。参加ご希望の方はシンポジウム当日会場にて受け付けますから，ふるってご参加下さるようご案内致します。

期 日：1962 年 6 月 22 日（金） 13.00～16.00

見学先：国鉄新丹那トンネル

集合地：国鉄来ノ宮駅前 国鉄静岡幹線工務局熱海出張所

会 費：200 円

定 員：50 名

第 9 回関東地区学生諸君のための映画会

定例（毎月第 3 土曜日）による建設技術フィルム ライブラリーと共催の第 9 回関東地区学生諸君のための映画会を下記のとおり開催いたしますから多数ご来会下さい（入場無料）。

なお，一般会員の御来会も歓迎いたします。

1. 開催日時：1962 年 6 月 16 日（第 3 土曜日）
2. 会 場：土木学会会議室（東京都新宿区四谷 1 丁目 外濠公園入口）
3. 上映映画：(1) 下水の科学
 (2) 生きている川
 (3) ダム
 (4) 河川概論

昭和 37 年度夏期講習会について

最近の技術の進歩にはめざましいものがあります。本年度は特に「最近の基礎工法」について夏期講習会を行なう予定です。詳細は次号に発表いたしますが多数ご来聴下さいますようご案内申し上げます。

1. 日 程 講習会 1962 年 8 月 30 日 (木), 31 日 (金) の両日
見学会 1962 年 9 月 1 日 (土)
2. 場 所 厚生年金会館 (東京都新宿区番衆町 19・TEL 351-1111)
3. 内 容 最近の基礎工法全般について 10 題目の講習ならびに映画および見学会の予定。

第 9 回 海岸工学講演会講演募集

第 9 回海岸工学講演会は 10 月 16, 17 日の両日, 東京において開催することになりました。講演ご希望の方は次の要領により, ふるってご応募下さい。

1. 日 程: 1962 年 10 月 16 日 (火)~17 日 (水) の両日
2. 講演申込期日: " 6 月 30 日 (土)
3. 講演原稿締切: " 7 月 31 日 (火)
4. 講演原稿: B 5 判 6 ページ (原稿用紙 400 字詰 35 枚, 図表, 写真をふくむ, 図面はトレーシングペーパーに必ずスミ入れし, 文字は鉛筆書きにして下さい) 以内を厳守して下さい。超過した場合は書き直していただきます。
5. 申 込 先: 東京都新宿区四谷一丁目 土木学会第 9 回海岸工学講演会係

地震工学国内シンポジウム (1962 年) 講演募集

土木学会, 日本建築学会, 地震学会, 土質工学会共催の地震工学国内シンポジウムを次の要領で開催致しますから多数ご応募下さい。

I. 開催期日その他

1. 期 日: 1962 年 11 月 15 日 (木), 16 日 (金), 17 日 (土)
2. 場 所: 東 京
3. シンポジウムの内容: パネル討論および論文発表をもって構成し, パネル討論については特定のテーマについて毎日午後 3 時頃より行ない, テーマは 1). Seismicity と耐震設計 2). Dynamic Design (上部構造および下部構造) を考えています。

II. 発表論文の募集

発表論文の内容, 応募の方法, 発表論文の体裁, 発表論文の取扱い, などについては土木学会誌 46 巻 12 号 (36 年 12 月) 会告欄をご参照の上論文提出希望者は 37 年 6 月 15 日までに邦文約 800 字以内の内容梗概をつけて当学会にお申込み下さい。

橋梁・構造物に関する新しいアイディア研究発表会論文募集要領

今回は大変広い範囲を包含した課題といたしました。橋梁, 構造物の材料, 構造, 設計法, 施工法, 試験法, その他に関する新しいアイディアについての各方面の研究をご発表願います。

- 共 催 : 日本学術会議—橋梁・構造工学研究連絡委員会, 土木学会, 日本建築学会
- 日 時 : 1962 年 10 月 17 日 (水) 午前 9 時より (予定)
- 場 所 : 大阪建設会館・6 階講演室 (大阪市東区京橋 3 丁目 70・電 (941) 3651~3)
1. 原稿枚数: 学会誌刷り 4 ページ以内 (400 字詰原稿用紙 24 枚以内・図表・写真をふくむ)
 2. 原稿締切日: 1962 年 8 月末日
 3. 論文応募に関する問合せ先ならびに原稿送付先: 日本学術会議事務局—橋梁構造工学研究連絡委員会 (東京都台東区上野公園内 TEL 821-3751), または土木学会, 日本建築学会
 4. そ の 他: 原稿の採否は日本学術会議—橋梁構造工学研究連絡委員会にご一任下さい。

第 11 回レオロジー 討論会 講演 募集 (大阪)

標記討論会を次の 7 学協会の共催で下記のとおり開催致しますので、ふるってご応募下さい。

- 共 催：日本化学会，日本物理学会，高分子学会，日本機械学会，日本金属学会，土木学会，日本材料試験協会
1. 日 時：1962 年 10 月 15 日 (月)，16 日 (火)，17 日 (水)
 2. 場 所：大阪商工会議所 (大阪市北区堂島西町 2 丁目)
 3. 主 題：①金属のレオロジー ②土，岩石，コンクリートのレオロジー ③高分子，分散系のレオロジー，その他現象としてはレオロジー全般にわたるが，今回は特に対象を上記 3 つの区分にわけ，それぞれ異なった分野の研究の連係を緊密にすることを目的として計画した。特に従来比較的取り上げられることの少なかった ①，② の主題を積極的に取り上げたいと思いますので，関係各位はふるって応募されたい。
 4. 申込 締 切：7 月 20 日 (金)
 5. 申 込 先：東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会レオロジー 討論会係
 6. 申 込 方 法：講演題目，勤務先，連絡先，研究者名 (連名のときは講演者に○印)，内容の概要 (400 字以内) を記した申込書を提出のこと。
 7. 講 演 要 旨：採択された講演については，8 月 20 日 (月) までに，図表をふくめて 2 000～4 000 字程度の講演要旨を提出のこと。

申込の採否，プログラムの編成その他は準備委員会にご一任下さい。討論会においては，別に各主題について数件の特別講演を行なう予定です。

国 際 水 工 学 コ ー ス

(International Course in Hydraulic Engineering)

第 6 回国際水工学コースはオランダのデルフトにおいて 1962 年 10 月 18 日より 1963 年 9 月 17 日まで開催される予定であります。これはオランダ国際協力大学財団 (NUFFIC) と共同でデルフト工科大学によって組織されたもので，土木工学および水工学の大学卒業生で実地の試験を持つ人を対象とし，講義指導は英語で行なわれます。項目は

- a) Tidal and coastal engineering (including harbours)
- b) Reclamation (including ground-water recovery)
- c) Rivers and navigations works.

このうち一項目だけを選択することができます。またコースは講義，集団討議，工事現場見学と，参加者の自国での将来の仕事に關する個人的研究や実地の仕事に従事する期間とからなっています。課程終了後十分な成果を収めたと認められる者には水工学資格免許状が授与されます。デルフト水理実験所所長 J. Th. Thijssen 教授がこのコースの最高顧問です。

参加希望者は規定の申込書に所要事項を明瞭に記入し 1962 年 7 月 31 日までに提出すること。この申込書により選考を行ない，結果は数週間以内に本人に通知されます。同時に身体検査証および授業料納入方法に関する書類が送付されるのでこれらの手続をする必要があります。授業料は 2 000 Dutch guilders (約 19 万円) で，1962 年 8 月以前に納入すること。

なお参考までに滞在中の所要経費をあげれば次のとおりです。

- 食 住 費 1 カ月約 250 Dutch guilders (約 2 万 3 000 円)
 健康傷害保険その他 1 カ月約 125 Dutch guilders
 テキスト 1 部 75 Dutch guilders 以内
 見学会費 約 350 Dutch guilders

課程期間中有利なアルバイトはありません。また帰国旅費についても事前に考慮する必要があります。

またこの期間にデルフトにおいて第 3 回衛生工学コース (European Course in Sanitary Engineering) が開催されます。このコースは，ヨーロッパ諸国の技術者を対象としたものですが，その他の国のものも応募することができます。期間は 1962 年 10 月 22 日より 1963 年 7 月 15 日 (公式には 9 月 7 日) までで，授業料は 2 000 Dutch guilders です。

さらに詳細は下記に問合せて下さい。

東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会 Tel (351) 5138
 NUFFIC, 27 Molenstraat, The Hague, Netherland

第12回応用力学連合講演会講演募集

共 催：日本学術会議力学研究連絡委員会，応用物理学会，造船協会，土木学会，日本機械学会，日本建築学会，日本航空学会，
日本数学会，日本物理学会
幹事学会：土 木 学 会（東京都新宿区四谷1丁目 電 351-5138）
日本航空学会（東京都港区芝田村町 1-3 飛行館内 電 591-3261）
日 時：1962年9月6日（木）～9月8日（土）
会 場：東京大学工学部第2号館
申込要項：4月号会告参照
申込期日：6月9日（土）所属学会必着

昭和37年度技術士本試験について

昭和37年度技術士試験は，下記要領により施行されますのでお知らせ致します。

1. 受 験 資 格：大学，高専（理科系統）の卒業者または，これと同等以上の者で科学技術に関する実務経験が7年以上の者
2. 期日および試験地：筆記試験：1962年9月16日（日）東京都・大阪市
口頭試験：1962年10月16日（火）～19日（金）東京都
3. 本試験の技術部門：機械，船舶，航空機，電気，化学，繊維，金属，鋳業，建設，水道，衛生工学，農業，林業，水産，生産管理，応用理学
4. 受験申込の受付期間：1962年5月10日（木）～6月9日（土）

なお，受験申込用紙等は，返送料をそえて科学技術庁振興局（千代田区霞ヶ関3の4 電話（581）5271）に請求して下さい。

東北支部行事案内

（仙台市北三番丁・東北地方建設局内・電 仙台2局 4191）

道路講習会開催について

下記のとおり講習会を開催致しますが，詳細の決定は5月末の見込みですので，受講ご希望の方は土木学会東北支部へ御照会下さい。

1. 日 時：1962年6月中旬2日間
2. 場 所：仙台市
3. 題 目：道路の機械施工と品質管理の予定
4. 講 師：未定
5. 受講料：200円
主 催：土木学会，日本道路協会，日本建設機械化協会，共催の予定

中部支部行事案内

（名古屋市中村区笹島町1丁目232，近畿日本鉄道KK 名古屋営業局内・電 笹島 54-3331）

講演会開催について

1. 日 時：1962年6月26日（火）13.00～17.00
2. 場 所：名古屋市内 大津橋会館
3. 演題および講師：

① 名四国道について（映画「名四国道」上映）	建設省中部地建名四国道工事事務所長	神 谷 洋
② 名古屋港の臨海工業地帯造成計画と将来について	名古屋港管理組合工業港建設事業所長	粟 田 亀 造
③ 名古屋市周辺における国鉄輸送計画について	国鉄岐阜工務局次長	森 垣 常 夫

関西支部行事案内

(大阪市東区京橋3丁目70番地 大阪建設会館内・電 大阪 (941) 3651~3 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 第1回見学会 (鷹取西明石間線路増設工事見学会)

1. 期 日: 1962年6月15日(金)
2. 見 学 先: 国鉄鷹取西明石間線路増設工事
3. 集 合: 6月15日 13時20分までに国鉄須磨駅前
4. 行 程: 13.30 国鉄須磨駅前にて説明 30分——14.00 (借切観光バス利用) 須磨駅発——線増工事見学——16.30 国鉄明石駅着解散
5. 参 加 費: 100円
6. 定 員: 100名
7. 申 込 期 限: 1962年6月2日(土)
8. 申 込 要 領: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記の上, 参加費100円(送金は振替口座利用)をそえて6月2日までに土木学会関西支部へお申込み下さい。ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申込んで下さい。参加者には参加章をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。

(2) 通俗講演会 (交通と都市計画に関する講演と映画の会)

1. 日 時: 1962年6月2日(土) 14.00~17.30
2. 場 所: 大阪 朝日会館 電 大阪 (231) 0131 大阪市北区中之島3丁目 市電 肥後橋下車
3. 題目と講師:

① 名神高速道路の建設について	日本道路公団名神高速道路第一建設局工事部長	池 田 雄 二
② 東海道新幹線について	国鉄大阪幹線工事局次長	官 内 義 人
③ 大阪の都市計画を中心とする最近の問題	大阪市計画局長	河 村 重 俊
4. 映 画:
 - ① 建設進む名神高速道路
 - ② 大阪環状線——工事編——
 - ③ 新しい道——阪神高速道路公団の誕生まで——
5. 入 場 無 料: 来 聴 欲 迎
一般の方もお誘いの上御来聴下さい。

CIVIL ENGINEERING IN JAPAN, 1961 の発刊について

日本の土木工学の現状を広く海外へ紹介する目的で, 土木学会海外連絡委員会が総力をあげて編集にあたった本書は, 海外渡航者, 外人来客への贈呈として非常に価値のあるものと信じます。残部が多少ありますので希望者は至急お申し込み下さい。

内 容: 本文 74~75 ページ参照

体 裁: A4判 口絵16ページ(アート), 本文80ページ(真珠アルトン), 広告26ページ(アート), 豪華デザイン, 上製本

頒 価: 700円(送料とも)10部以上のまとまったご注文は特別なご相談に応じます。

会費のお払込みについて

本学会が健全財政を維持し, より発展するためには学会収入源の根幹たる会費をもれなくお払込みいただいはじめで達成されるわけです。37年度会費および36年度会費未納の方はこの機会にぜひお払込み下さるようお願い申し上げます。本号挿入の振替用紙(赤)がそのまま払込み用紙になっておりますのでご利用下さい。なお37年度より正員, 学生会員の会費は次のとおり変りましたからご注意ください。

	正 員	学 生 員
37年度分	1800円	900円
36年度分	1200円	600円